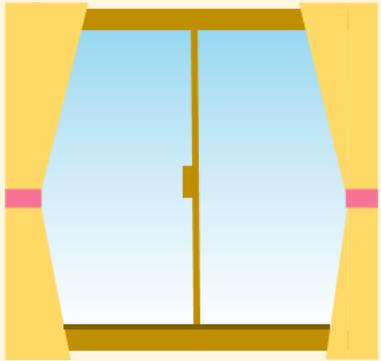


ひなんものがたり





2

「台風が近くに来たり、大雨になったりするときは、
ふだんとちがうことが起こることがあるのよ。」

「どんなことが起こるの?」

「お買い物に行けなくなるかもしれないのよ。
それと、水が出なくなることもあるの。」

そこで、
必要になりそうなものを準備することにしました。

コラム1 「避難に必要な、非常持出品や備蓄品を準備しよう!」

*非常持出品や備蓄品の一覧は、次のQRコードで確認できます。

広島県「みんなで減災」はじめの一步ポータルサイト(防災グッズ一覧)







3

しばらくすると、雨が降り始め、風も強くなってきました。



「山と川が近いけど、おうちにしても大丈夫かしら。」
お母さんは心配そうです。



「そうだね。山から土や木などが流れる土石流というものや、川の水があふれる洪水というものが起こるかもしれないな。」
お父さんも心配そうです。



ところが、おじいちゃんは
「山と川は、そんなには近くないから、大丈夫じゃろ。」と
言っています。

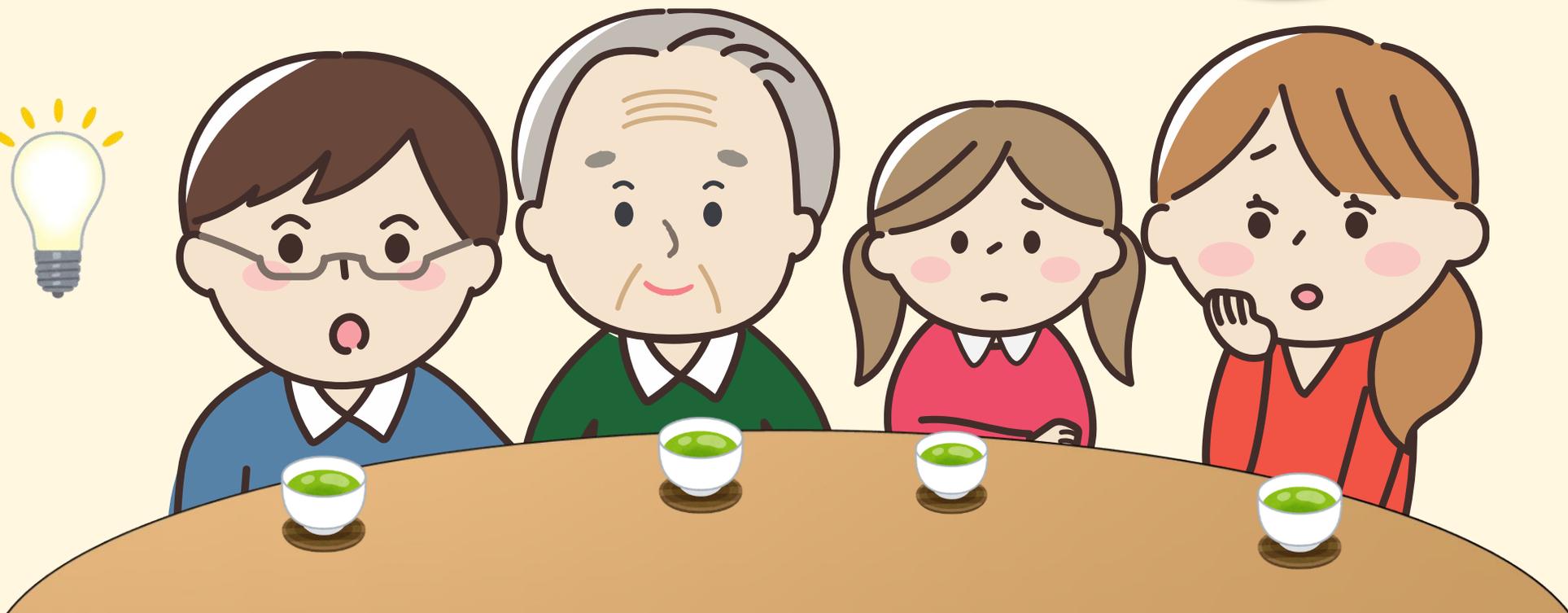
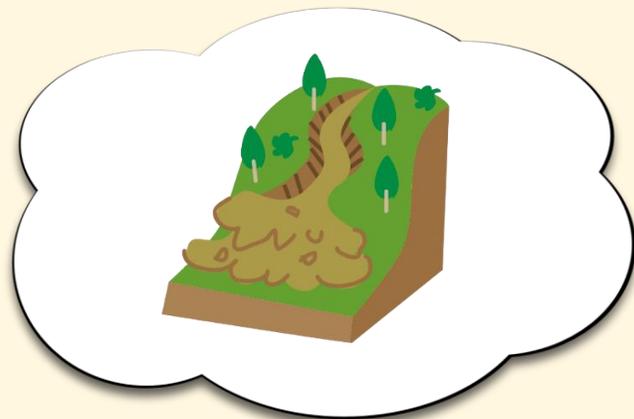
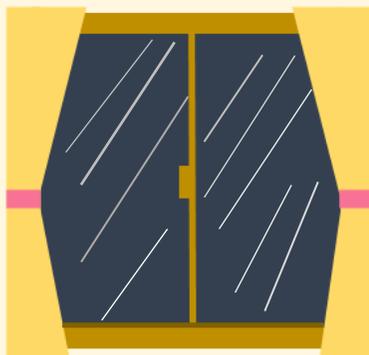


「え〜？ 本当に大丈夫なの？ なにか調べる方法はないの？」と
まこちゃんが尋ねました。



「あー！ いいものがあるよ！」

お父さんは、何を見せてくれるのかな？





4

見せてくれたのは、ハザードマップという地図でした。

「あ、うちはここね！黄色くなっているのはなに？。」

「黄色で塗られているところは、大雨のときに、土石流で危なくなる場所なんだ。そして、

赤く色が塗られているところは、洪水で危なくなる場所なんだよ。」

「まあ！うちにいると危ないっていうことね！雨が降り続いたら、安全な場所に避難した方がいいわね。」

「そうだね。ハザードマップに載っている、避難所に行こう！」

「えーっと、避難所までは、どの道を通ったらいいかしら？」

「遠いけど、色が塗られていない道がいいだろうなあ。どのくらい時間がかかるかなあ。」

「普段から避難する場所を決めて、歩いておけばよかったわね。」

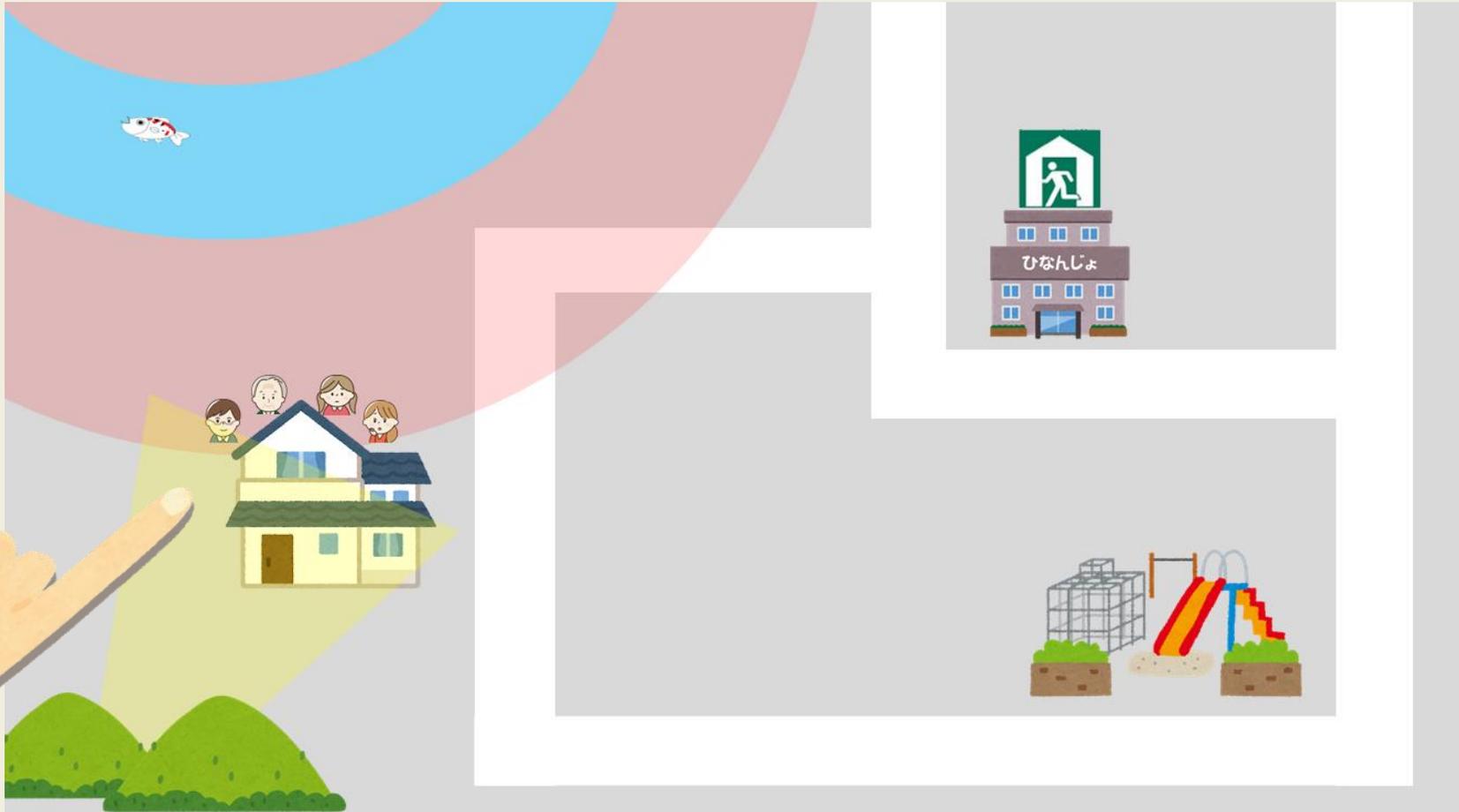
コラム2 「ハザードマップを見ておこう！」

- ① 自宅やその周辺の、土砂災害、洪水、高潮の危険性を確認しましょう。
 - ② 安全な避難先を、2つ以上決めましょう。
 - ・市町が指定する避難所は、ハザードマップで確認できます。
 - ・親戚や知人の家、ホテルなども避難先の候補として検討しましょう。
 - ・自宅が安全な場合は、「自宅」を避難先にすることが可能です。
(避難先は、災害種別ごとに確認が必要です。)
 - ③ 安全な避難経路を歩いておきましょう。
- *ハザードマップは、次のQRコードで確認できます。

ハザードマップポータルサイトHP ▶



ハザードマップ





5

さて、みんなで晩御飯を食べていると、
ピカピカ、ゴロゴロ、雷です！
テレビのアナウンサーが、



「危ない場所にいる人は避難しましょう！」
と、言っています。
それを聞いて、慌てて、まこちゃんは言いました。



「みんなで避難所に行こうよ！」

ところが、おじいちゃんは、



「え？なんで？大丈夫じゃよ。
ここでは土石流や洪水は起こったことがないんじやから、
大丈夫じゃよ。」

おうちにいようと言うのです。

そんなやりとりをしていると…

コラム3 「災害時の情報収集方法を確認しておこう！」

テレビやラジオ、スマートフォンなど、複数の手段で確認しておきましょう。
*災害時に役立つ情報は、次のQRコードで確認できます。

「災害時、見てほしい情報」

～適切な避難行動のための防災情報ポータルサイト | 広島県HP ▶



ひなんしましょう





6

あら？ まっくら！
停電になってしまったみたいですね！
まわりがみえないと、危ないよね！
どうしましょう！

…とそるときー！。





7

どこからか、明るい光が部屋を照らしました。



「おお！まこちゃんありがとう！」



「懐中電灯を、準備しておいてよかった！」



「そうね！さあ！
もっと危ないことが起こる前に、避難所に行きましょう！」



「うーむ」

「おや？」

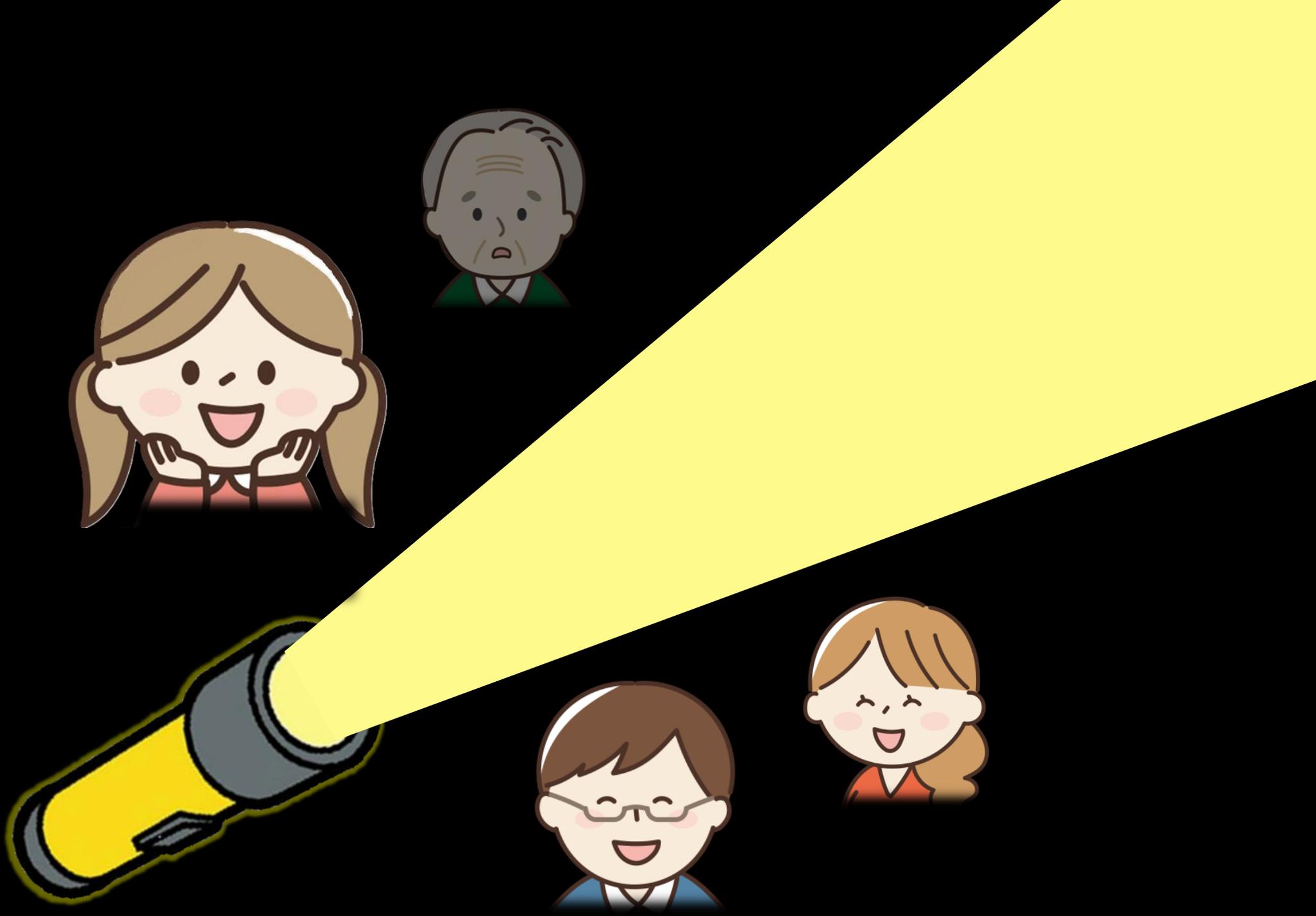
「おじいちゃんは、それでもまだ行かなくていいと思ってるみたい。」

すると、そこに、



「おい、ひろしきーん！」

「だれかやってきました。」





現れたのは、近所に住んでいる、よしおさんです。



「まだ避難してないんか！
はよしさんと助からんぞ！」

外を見ると、おうちの近くの川があふれそうになっていました。



「このままうちにいると危ないな。
わしも避難所に行くぞ。
よしおさん、声をかけてくれてありがとう！」





9

そうして、まこちゃんたちは、避難を始めました。おじいちゃんは、膝が痛くて、歩くのに時間がかかります。すると、空がどんどん暗くなり、雨と風がいよいよ激しくなってきました。道には、ところどころに、深く水がたまっています。

「みんなに怖い思いをさせてすまん…
もっと早く避難所に向かえばよかった。」
果たして、まこちゃん家族の運命やいかに！



「あ、避難所が見えたぞ！」

ハザードマップで、道順を調べていたので、なんとか避難所にたどり着くことができました。

ちょうどそのころ、まこちゃんたちのおうちは、土石流に巻き込まれていました。

かなしいけど、避難して、命は助かって、よかったね。

コラム4 「避難のタイミングを決めておこう！」
避難に時間のかかる人は早めに避難を開始しましょう。

＊避難情報の発令状況は、次のQRコードから確認できます。
広島県防災Webポータルサイト



★避難情報の例

警戒レベル4
避難指示 危険な場所にいる人は全員避難

警戒レベル3
高齢者等避難 危険な場所にいる、避難に時間を要する人
(高齢者の方、車いすが必要な方、乳幼児等)は避難

※ 8画面を読み終わったら、このラインまで右側に引いて、読み始めます。(まこちゃん家族の運命やいかに!) まで読み終わったら、全部ぬいて残りを読みましょう。

表面の様子







このあと、まこちゃん家族は、新しいおうちで、この避難をふりかえり、よかったところ、直したほうがいいところを話し合いました。必要なものも、もっと準備したので、安心して暮らすことができました。

みんなも、おうちの人と話し合って、安全な場所に、早めに避難できるようにしておきましょうね。

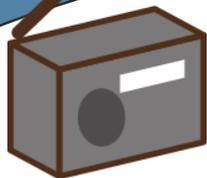
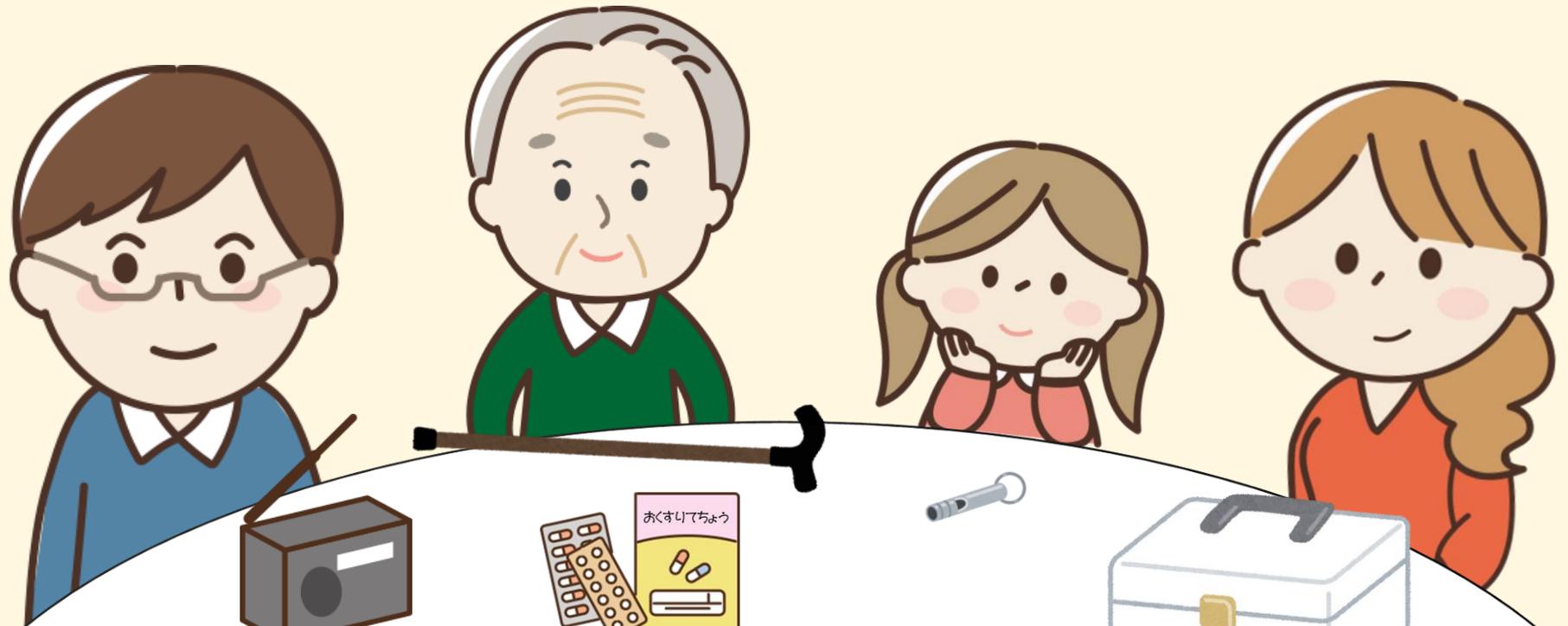
そして、いざというときには、みんなで大切な命を守りましょう！

コラム5 「LINE版マイ・タイムラインを作成しよう！」

住所を入力するだけで、周辺の危険な場所や、最寄りの避難所を確認できます。危険が迫ったときは、LINEで避難情報が通知されます。

*LINE版マイ・タイムラインの作成方法は次のQRコードから確認できます。







「ひなんものがたり」

作：広島県危機管理監 みんなで減災推進課
(2026年3月31日 初版)

ひなんものがたり。
小学生のまこちゃんは、
お父さん、お母さん、そしてひろしおじいちゃんと、
一緒にくらしています。
おうちの近くには、山と川があります。

ある日のこと、テレビの天気予報を見ていると…
おや？これは何かな？



「台風が発生したみたいだね！」
お父さんがいいました。



「近くに来るみたいね。大雨になるって言うてるわ！
風も強くなるんだって！
どうしましょう！」
お母さんは心配そうです。